

地域再生計画

1. 地域再生計画の名称

「次世代に引き継ぐ豊かで美しい自然環境」計画

2. 地域再生計画の作成主体の名称

青森市

3. 地域再生計画の区域

青森市の全域

4. 地域再生計画の目標

本市は、青森県のほぼ中央に位置し、824.56 平方キロメートルに及ぶ広大な行政区域と 30 万人を超える人口を有する県都であり、交通・行政・経済・文化の中心都市として都心部を中心に高度な都市機能が集積し、交通の結節点として高い拠点機能を有している。

また、北は陸奥湾に面し、東部と南部には奥羽山脈の一部をなす東岳山地、八甲田連峰、西部には広大な津軽平野、津軽山脈など、雄大な自然環境に恵まれている。

特に、青森地区に面し、全国的に名高いホタテやナマコなどの様々な恵みをもたらす宝の海である陸奥湾は、開口部が狭く、極めて閉鎖性の高い水域となっており、その上、潮流が非常に遅いことから、いったん汚染が広がるとその回復には長い年月と多額の投資が必要となるとともに、完全な再生は困難とされている。

全国トップクラスの生産量を誇るりんごの一大生産地域である浪岡地区では、山間地に源を発する浪岡川などの公共用水域が、豊かな農作物を育む津軽平野を潤しながら岩木川に合流し、十三湖を経て日本海へと続いており、悠然とした田園風景・環境が広がっている。

このような状況から、生活環境の改善及び陸奥湾や浪岡川などの公共用水域の水質を保全するため、公共下水道事業や農業集落排水事業、合併処理浄化槽の整備を進めてきた結果、汚水処理施設の整備状況である汚水処理人口普及率は、平成 16 年度末には青森地区が 74.2%、浪岡地区が 58.0% で全体として 73.1% まで向上したものの、全国平均 79.4% に比較すると依然として低い状況であり、未だ生活排水の約 27% が未処理のまま排出され、公共用水域の水質に影響を及ぼしている。

このため、引き続き公共下水道、農業集落排水施設の整備を進めるとともに、広大な行政区域を有する本市において、市域全体での生活排水の適正な処理を進めるため、集合処理区以外の区域においては浄化槽の設置を促進することにより、汚水処理施設の一体的整備を行い、汚水処理人口普及率の向上を図る。

これに加えて、一般家庭などにおける水洗化を促進するとともに、市民の自主的な河川環境や陸奥湾沿岸域の清掃活動などの取り組みを支援するほか、市民が身近に自然とふれあうことができる機会を充実し、自然の素晴らしさや重要性に対する理解と認識を高めることなどにより、陸奥湾や浪岡川等の河川、八甲田連峰など次世代に引き継ぐ豊かで美しい自然環境の保全・再生を目指す。

(目標) 汚水処理人口普及率を 73.1% (平成 16 年度末) から 79.8% に向上

5. 目標を達成するために行う事業

5 - 1 全体の概要

青森市内全域における生活環境の改善及び公共用水域の保全・再生のため、これまで「青森県汚水処理施設整備構想」に基づき公共下水道・農業集落排水施設・浄化槽により整備を進めてきた。

青森地区における公共下水道は、これまで市街地を中心に整備を進めた結果、市街地については概成したため、今後は補助事業を活用しながら市街地の発展に合わせた整備を進める予定である。浪岡地区については、青森地区に比べ汚水処理施設整備が遅れており、主な汚水発生源である市街地の中心を流れる浪岡川及び同地区の主産業である農業に使用される農業用水等の水質汚濁防止のため、また生活環境の向上を図るため、市街地や周辺住宅密集地については、汚水処理施設整備交付金を活用し、公共下水道で整備を進める。

採択を受けている農業集落排水事業については平成 18 年度完了予定のため、公共下水道及び農業集落排水事業以外の市内全域については、汚水処理施設整備交付金を活用し、浄化槽の設置を促進することにより、市内全域をそれぞれの汚水処理施設により一体的に整備する。

また、これらに加えて、一般家庭などにおける水洗化を促進するほか、浪岡川の清掃活動を行う「浪岡川クリーンの会」等による清掃活動への支援や、森林公園を活用した自然と触れ合うイベントを開催するなどの支援を行う。

青森市流域関連公共下水道事業(浪岡地区)については、平成 18 年 2 月に下水道法第 4 条の規定により認可取得予定

5 - 2 法第 4 章の特別の措置を適用して行う事業

汚水処理施設整備交付金を活用する事業

整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

[事業主体]

・青森市

[施設の種類]

・公共下水道、浄化槽(個人設置型)

[事業区域]

・公共下水道 青森市浪岡地区
・浄化槽(個人設置型) 青森市の全域(公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業の採択を受けた区域を除く)

[事業期間]

・公共下水道 平成 18 年度～22 年度
・浄化槽(個人設置型) 平成 18 年度～22 年度

[整備量]

・公共下水道 75～300mm L = 13,600m
・浄化槽(個人設置型) 175 基

なお、各施設による新規の処理人口は下記の通り。

・公共下水道 青森市浪岡地区 3,115 人
・浄化槽(個人設置型) 青森市全体 455 人

[事業費]

・公共下水道
事業費 1,358,000 千円 (うち交付金 679,000 千円)
単独事業費 872,000 千円
・浄化槽(個人設置型)
事業費 64,620 千円 (うち交付金 21,540 千円)
・合計
事業費 1,422,620 千円 (うち交付金 700,540 千円)
単独事業費 872,000 千円

5 - 3 その他の事業

・公共下水道(青森地区)

市街地の発展に合わせて補助事業及び単独事業により整備を促進する。

・農業集落排水施設

青森地区のうち桑原地区、浪岡地区のうち浪岡野沢地区の整備を補助事業及び単独事業により平成 18 年度で完了させる。

・水洗便所改造等工事支援事業

一般家庭などにおける水洗化を促進するため、汲み取り便所を水洗便所に改造する場合等の改造工事資金に対して金融機関に利子相当額の補給を行う無利子の融資あっせん事業を行い、水洗化に係る経済的負担に対して支援を行う。

・浪岡川クリーンの会事業

浪岡地区を流れる浪岡川の環境を維持、保全するため、清掃活動を行う市民団体を支援する。

・漁場環境保全事業

閉鎖性水域である陸奥湾の環境を維持、保全するため、清掃活動を行う漁業者や地域住民を支援する。

・森林公園活用事業

市民の自然保護意識や緑化意識の高揚を図るため、森林公園において自然観察会など自然と触れ合うイベントを開催する。

6 . 計画期間

平成 18 年度 ~ 22 年度

7 . 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4 に示す数値目標に照らし状況を調査、評価し、公表する。

8 . 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし